

2023年度(令和5年度)事業報告抄録

一般社団法人全国腎臓病協議会(以下「全腎協」という)は、役員改選による新たな体制になり、新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが2類から5類へ移行された後は、会議や活動はWebを主流としながらも対面での活動を交え、活発に事業を真摯に推し進めてまいりました。

社会的に大きな問題となった、臓器移植を無許可であっせんしたとして起訴された事件に対しては、いち早く全腎協は非倫理的かつ違法性のある臓器移植は許容できない旨の声明文を発信しました。2023年2月に東京・八王子市の精神科病院「滝山病院」で発覚した、患者への虐待事件では、精神病患者の透析医療の確保という問題にも取り組んでいかなければならないことが明らかになりました。

2023年10月には、厚生労働省で取りまとめられた「腎疾患対策検討会報告書(平成30年7月)」に係る取組の中間評価と今後の取組について」が公表されました。そこでは新規透析導入患者数は、2028年までに年間35,000人以下に減少させることや、5年で5%以上減少させる都道府県数などを掲げていましたが、その数は12道県にとどまりました。今後は個別施策「①普及啓発、②地域における医療提供体制の整備、③診療水準の向上、④人材育成、⑤研究開発の推進」の更なる推進が必要とされました。なお当検討会には、委員の一人として全腎協も参加し、「患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟(CKD議連自民党)」事務局と懇談も行いました。

日本透析医学会の調べによると、2022年末透析患者総数は34万7,474人となり、患者数は前年より全体としては減少しましたが、高齢の透析導入患者は増えており、腎臓病の重症化予防や透析患者の通院・介護の対策を進めていく必要があります。

2023年度は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の審議の年でした。診療報酬の改定では、生活習慣病対策として「慢性腎臓病透析予防指導管理料」が新設され、人工腎臓に係る「導入期加算」の見直しでは、慢性腎臓病患者に対する移植を含む腎代替療法に関する情報提供及び共同意思決定をさらに推進する観点から、要件及び評価が見直されました。その一方で、「人工腎臓」については、包括されて

いる医薬品の実勢価格を踏まえ、全ての点数において9点減りました。透析医療の質の低下が懸念されますので、その影響について注視していく必要があります。

介護報酬の改定においては、透析を要する入所者であって、その家族や病院等による送迎が困難であるなどやむを得ない事情があるものに対して、1月に12回以上、通院のため送迎を行った場合の評価として「特別通院送迎加算」が新設されました。十分といえる内容ではありませんが、通院費用が公費として認められたことは画期的といえます。

患者会の運営については、コロナ禍の影響もあり、会員減少に歯止めがかからず、入会促進事業を進めているところですが、抜本的な運営方法の見直しも必要に迫られており、中長期的な課題の検討や事務局体制の見直しを進めていきました。本年1月1日に発生した令和6年(2024年)能登半島地震の際は迅速に情報収集を進めました。

定款に定める目的を達成するため事業としては以下のとおり実施しました。

1.腎臓病の予防及び治療に関する知識の普及と啓発事業

1 全国組織としてのアピールと連携・資質向上のための事業

(1)全腎協シンポジウムと研修会の開催

患者会が直面する諸課題を共有し、課題解決の糸口を見つけるための場とするため会議を開催した。

日 時 11月11日・12日

場 所 アワーズイン阪急(東京都品川区)

参加者 全国加盟組織代表ほか 49名

(2)全国青年研修会

青年層患者の活性化を目指し、諸課題解決のための研修会を開催した。

日 時 8月27日

会 場 ZoomによるWeb会議

参加者 全国加盟組織の青年層ほか 36名

2 組織の維持、運営のための事業

(1)定時社員総会の開催

日 時 6月24日・25日

場 所 アワーズイン阪急(東京都品川区)

出席者 全国加盟組織代表及び全腎協役員 67名

(2)理事会の開催

日時、場所・方法

第37回通常理事会

4月23日 ZoomによるWeb会議

第25回臨時理事会

6月10日 ZoomによるWeb会議

第26回臨時理事会

6月25日 アワーズイン阪急

第27回臨時理事会

7月29日 ZoomによるWeb会議

第38回通常理事会

9月2日・3日 アワーズイン阪急

第28回臨時理事会

12月9日 ZoomによるWeb会議

第39回通常理事会

1月21日 ZoomによるWeb会議

第40回通常理事会

3月9日・10日 アワーズイン阪急

出席者 理事及び監事

(3)各委員会の開催

1.中長期運営検討委員会

非営利組織の課題解決をボランティアで無償提供する認定NPO法人サービスグラントの「プロボノ」の助成申請が採択され、2.5か月の短期支援を受け、中長期財政政策についての検討を進めた。

プロボノ対応(ZoomによるWeb会議)

9月14日 全腎協の活動内容の把握

9月26日 活動内容の確認と支援内容の確認

10月17日 事業の整理とアンケート内容の確認

11月24日 プロボノ最終成果物受領

委員会開催1回(ZoomによるWeb会議)

1月14日 事業計画予算(案)の検討

2.組織対策委員会

新規入会キャンペーン、全国シンポジウムの企画、当該委員会所掌の助成金申請審査を行った。

委員会6回開催(ZoomによるWeb会議)

8月23日 新規入会キャンペーンについてほか

9月16日 ブロック助成金についてほか

10月21日 規定の改定、全国シンポジウム企画ほか

12月10日 全国シンポジウム報告ほか

1月13日 次年度事業計画ほか

2月10日 次年度入会促進ツールの検討ほか

3.通院介護委員会

介護保険制度、通院送迎対策への取り組み、当該委員会所掌の助成申請審査を行った。

委員会4回開催(ZoomによるWeb会議)

5月23日 年間計画についてほか

11月21日 離島・過疎地通院調査ほか

2月 8日 助成金申請審査、次年度事業計画ほか

3月21日 助成金申請審査、次年度事業計画ほか

4.社会保障委員会

厚労省予算要望への対応、関係団体との懇談、CKD講演会等の共催、取材対応、ブロック医療講演に講師派遣、当該委員会所掌の助成申請審査を行った。

委員会2回開催(ZoomによるWeb会議)

9月14日 厚労省予算要望の回答を受けての対応

1月30日 CKD助成申請審査

関係団体との懇談、共催、講師派遣

10月11日 バイエル薬品講演会打ち合せ

10月19日 日本腎臓病協会・バイエル薬品講演会打ち合わせ

10月24日 日本腎臓病協会ニューズレター取材

12月20日 CKD議連事務局との懇談(ZoomによるWeb会議)

2月 3日・ 4日 中国ブロック医療講演会

3月 4日 ノベルティーファーマ懇談会

5.災害対策委員会

腎臓病患者の災害対策に関する情報共有、

災害見舞金申請審査、石川県能登地震に
ついての情報集約、情報発信他を行った。
委員会3回開催 (ZoomによるWeb会議)
9月23日 災害見舞金申請審査、被災状
況迅速把握調査ほか
10月21日 災害見舞金申請審査、災害マ
ニュアル・手帳作成ほか
2月11日 次年度予算・計画、能登半島地
震のその後の被災状況ほか

6. 青年委員会

青年ブロック研修・交流会の企画をした。全
腎協青年部Webサロンは定員割れのため
中止とした。
委員会3回開催 (ZoomによるWeb会議)
4月29日 青年研修会企画ほか
10月 8日 青年研修会総括、委員追加推
薦ほか
2月18日 Webサロン事前打ち合わせ、
次年度計画ほか

講師派遣

3月17日 千葉県青年部立上げ会

7. 広報委員会

当会の活動を内外に発信する活動ほかを
行った。
委員会8回開催 (ZoomによるWeb会議)
4月19日 会報アンケート、HP活動ペー
ジ新設ほか
5月29日 会報企画ほか
7月20日 会報企画ほか
8月 6日 会報発行回数ほか
9月15日 会報編集部新設についてほか
10月31日 会報送料助成金ほか
11月24日 会報編集WG、2024年度事業
予算案の方向性ほか
2月 8日 会報広告、全腎協の広報につ
いてほか

2. 腎臓病患者の自立を支援する事業

1 各種助成事業を行った

(1) ブロック助成事業

ブロック助成金交付要領に基づき2ブロック

に1,000,000円を助成した。

(2) 特区チャレンジ事業助成事業

特区チャレンジ事業助成金要領に基づき、
組織拡大に寄与する先駆的な事業17件に
1,636,300円を助成した。

(3) 離島僻地対策助成事業

離島へき地対策助成金要領に基づき3件、
59,160円を助成した。

(4) 通院介護等支援事業

ボランティア運転講習会への助成金支出基
準に基づき7件、161,740円を助成した。

(5) 医療・福祉・栄養相談会・慢性腎臓病
(CKD)講演会等助成事業

医療・福祉・栄養相談会・慢性腎臓病(CKD)
講演会等助成金支出要領に基づき12件、
997,098円を助成した。

(6) 青年委員会ブロック活動助成事業

全腎協青年委員会ブロック活動への助成金支
給基準に基づき2件、25,500円を助成した。

(7) 周年記念事業への助成事業(10周年毎・
50周年)

周年記念事業への助成支出要領に基づき7
件、1,050,000円を助成した。

2 災害見舞金の支給

見舞金規定に基づき、福岡県5件、秋田県10
件、福島県3件、茨城県1件、合計19件に対して
790,000円支給した。

3 市民公開のシンポジウムの講演会

(1) 臓器移植推進月間の啓発

(2) 臓器移植フォーラム「2023年度臓器移植
フォーラムinみやざき」の開催

日 時 2023年10月29日
13時～16時30分
会 場 宮崎市民プラザ(ギャラリー)
共 催 一般社団法人宮崎県腎臓病協議会・
一般社団法人全国腎臓病協議会
参加者 一般県民等 65名

4 組織強化事業

(1) 特区チャレンジ事業(再掲)

(2) 会員拡大のための事業

新規入会キャンペーンとして啓発チラシを5
万部発行し、入会特典として新規入会者には

進呈品を配布した。

5 腎臓病に関する無料相談の実施等

(1) 専門家(医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、
認定心理士)による電話相談事業を実施した。
生活・福祉相談件数
(担当：医療ソーシャルカー) …………… 68件
栄養・食事相談件数(担当：管理栄養士)
……………58件
こころの相談件数(担当：認定心理士) …40件
(2) 事務局相談担当者による相談事業を実施した。
事務局電話による相談件数 …………… 448件
メール・対面等による相談件数 …………… 121件
(3) 関係団体等の研修会、研究会への参加(一
部リモート会議に参加)し、各専門相談員と
の連携の強化と諸課題を共有した。

3. 腎臓病に関する調査研究と政策提言

1 国会請願活動

私たちの掲げる「国民を腎疾患から守る総合対
策」の早期実現のための最重点要望事項を、憲法
に定められた請願権に基づき第53次請願として
国会へ提出した。

日 時 2024年3月14日
10時30分～15時30分
会 場 参議院議員会館(講堂)
紹介議員数 226名
請願署名数 295,362筆
募金額 1,558,138円

2 担当各省庁への要望事業

私たちの医療、福祉、通院、介護等に関する法令等事
項、予算等事項、施策等事項を関係省庁に要望した。

3 加盟組織要望事業の支援

加盟組織が行う関係自治体、医療団体等への要
望活動を支援した。

4 医療福祉関係団体活動への積極的参加

(1) 医療関係団体・学会への参加

- ・患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議
員連盟(CKD議連)
- ・特定非営利活動法人日本腎臓病協会
- ・公益社団法人日本臓器移植ネットワーク
- ・公益財団法人日本腎臓財団

(2) 関係団体への役員派遣

- ・一般社団法人日本難病・疾病団体協議会
(JPA)
- ・特定非営利活動法人日本障害者協議会(JD)
- ・公益財団法人日本透析医会 血液透析患者実
態調査検討ワーキンググループ(透析研究会)

4. 広報誌の発行及び
ホームページの運営等の広報事業

1 会報『ぜんじんきょう』の発行

年6回、年間総発行部数は390,370部

2 声の会報

年6回、視力障害者等を対象に会報『ぜんじんきょ
う』を音声化したCDを配布した(年間743枚)。

3 書籍の発行・頒布

『透析をはじめる人のためのガイドブック』『腎
臓病患者の社会保障ガイドブック』等腎臓病患者
の生活の向上に役立つ書籍の頒布をした。

4 ホームページ、SNSの活用

腎友会の活動をはじめ腎臓病についての全般的
な情報のほか、腎臓病に関する講演会などの開
催情報など随時掲載した。

5 ニュースレター等での情報発信

障害者施策、介護保険、医療保険制度、その他制度
改正等に対応した内容についてメールを中心に会
員・患者へ情報発信するとともにホームページにも
掲載した(『全腎協ニュースレター』発行6回)。

6 『はーとなび』の発行

介護保険、道路運送法、高齢者施設(入居・入所)
情報等の会員・患者への情報発信及びホーム
ページへの掲載した(発行5回)。

5. 腎臓病患者を支援する基金事業

6. その他、この法人の目的を
達成するために必要な事業

1 事務局運営

2 資産管理を含む財務運営の適正化、赤字予
算、基金の見直しなどを含む資産の適正化